



広報 No.325 1979. 2. 1

# まくべつ

発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(0155) 4-2111  
編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 印刷・ソーコー印刷

お年寄りに朗報



オープン

# 特別養護老人ホーム札内寮

●入所を受付中

## 全国でもあまり例のない 温泉のついた 老人ホーム

社会福祉法人・幕別真幸協会（角田政平理事長）では昨年九月から依田の十勝愛育園隣接地に特別養護老人ホーム札内寮を建設中でしたが、三月一日からオープンすることになりました。

真幸協会は昨年四月に法人認可となつた組織ですが、老人福祉法による特別養護老人ホームの建設地として、幕別温泉地区に

白羽の矢をたて、町にたいして請願していました。  
幕別温泉地区は、昭和五十二年五月に国民保養温泉地に指定されたほか、町でもこの地区に老人福祉センターを建設し、福祉村とする構想を持っていたところから協力することになり、ホーム建設敷地を無償で提供、昨年九月から総工費二億三百二十九万円で工事に着手、予定より一か月早い三月一日からオープンすることになったものです。

老人ホーム札内寮の規模は、鉄筋コンクリート造り平屋建で、建物の面積は千三百

町内初の特別養護老人ホームが3月1日、十勝愛育園隣りにオープンします。町では国民宿舎・幕別温泉ホテル周辺を福祉と保養の村とする構想で施策を進めています。特別養護老人ホームの完成により、この構想はまた一步前進します。



心身の不自由なお年寄り50人が暮らすようになる老人ホーム

- ホームヘルパー 老衰や心身のぐあいが悪くて日常生活に困っている、ひとり暮らしや、寝つきの悪いお年寄り、心身障害者の身の周りのお世話をするのがホームヘルパーです。
- 幕別温泉ホテルの無料入浴券 ゆっくりお湯につかって、ますます元気な毎日をお過ごしいただこうと、六十五歳以上のみなさんにさしあげています。
- 温泉行きバスの運行 月二回、四路

福祉は思いやりの心、社会的に弱い立場の人たちに温かい手をさしのべることです。福祉は町政の大きな柱です。その福祉施策の中からお年寄りの方を対象にしたものまとめてみました。

● 医療費 六十八歳以上の人すべてと六十歳以上の寝たきりの人（条件あり）の医療費は無料になります。

また、六十五歳以上六十八歳未満でも次の条件にあてはまれば医療費が無料になります。  
① 国民健康保険・健康保険、各種共済保険に加入している人  
② 老人夫婦のみの世帯（一方が六十五歳以上で配偶者が六十歳以上）か、老人と児童（十八歳未満の子）の世帯、または単身（子がまつたくない）の独立世帯であること  
③ 十八歳以上の子がないこと（ただし次のどれかに該当する時は可）  
・ひとり暮らしの期間が6か月以上  
・他へ養子縁組している子並びに子が女子のみで全員嫁いでいる場合  
・子の中に一人でも重度心身障害者および長期療養者がいる場合  
・子が満二十歳未満の勤労者の場合  
・満二十歳現在、在学している学生と生徒は卒業するまで

六十三・三三平方メートルあり、五十人のお年寄りを収容することが出来ます。

また、入所者が安心して生活出来るよう

機能回復訓練室、娯楽室、休けい室、食堂などが設けられていますが、この札内寮の特徴は温泉付。

町では敷地の提供のほか幕別温泉のお湯を無償で送ることになり、ただいま工事が進められています。温泉のある老人ホームは全国でもあまり例はなく、ホーム入所者は長い人生の疲れを癒しながら明るく楽しむことが出来るようになっています。

## お近くの民生委員か 役場民生課福祉係へ

なお、ただいま老人ホーム札内寮に入所を希望している方の受付をしています。入所基準は次の通りです。

■入所できる方　六十五歳以上の方であつて、身体上または精神の障害のため、常時、介護を必要とし、各家庭で介護を受けることの困難な方。

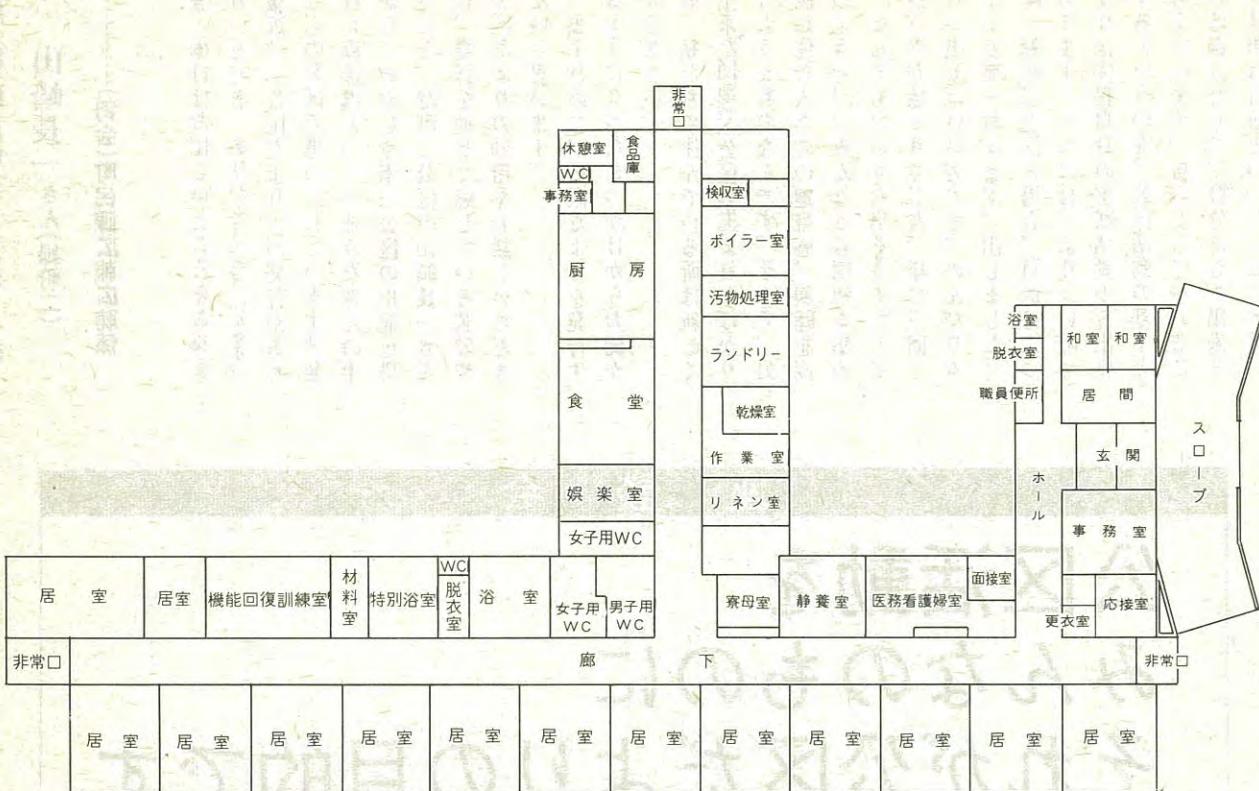
■費用　入所者の費用は無料。ただし収入により一部負担となることがあります。

■入所手続　近くの民生委員または役場民生課福祉係にお申し出ください。

■入所受付締切日　二月二十八日必着

證明書、健康保険証、年金手帳、預金通帳病院で治療中の場合は主治医の添書（紹介状）、寝具下着類、洗面道具、その他日用品

このほか、くわしい内容は役場民生課福祉係に、おたずねください。



線を無料運行しています。運行日は毎月十五日発行の「おしらせ」で翌月の予定をご覧ください。

●老人クラブ　町内に十五の老人クラブがあります。それぞれの地域のお年寄りが、老後の生活を明るく楽しいものにしようと自主的に運営しています。

入会希望の方はお近くの老人クラブに連絡してください。連絡先は、昨年お配りした黄色い表紙の「ハンドブック・まくべつ」の二十四ページをご覧ください。

●介護手当　六十五歳以上の寝たきり老人、六十五歳未満の寝たきり重度心身障害者、特定疾患患者の方へしされます（ただし、福祉手当を受けている人を除く）。手当は月額三千円。

●寝たきり老人見舞金　町内に三ヶ月以上住んでいる六十歳以上のねたきりの方に月額二千円さしあげています。

●しらかば大学　お年寄りの生きがい対策のひとつと、昭和五十一年四月にオープンしました。六十五歳以上の方ならだれでも参加できます。一般教養から、焼きものなどの実技コースまでいろいろな講座を用意しています。

しらかば大学についてのお問合せは教育委員会社会教育係におたずねください。そのほかの事項は役場民生課福祉係にお問合せください。

また、生活上で困った問題があるときは役場民生課福祉係かお近くの民生委員にご相談ください。民生委員の氏名と担当区域、連絡先は「ハンドブック・まくべつ」三十五ページに出ています。

●出席／川前正男さん(あかしや南一)

山崎長一さん(緑町二)

……(司会)町民課広報広聴係

司会 本日はお忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございます。

最近、「公区だより」の発行があちこちの公区で進められています。発行に直接携わっているみなさんの中

から、あかしや南一公区の川前正男さんと、緑町二公区の山崎長一さんに、発行を通じて感じている苦労や公区だよりの効用をお話しいただきたいと思います。

まず初めに、公区だよりを発行するようになつたきっかけからお聞かせください。

川前 私たちの住んでいる所は新しく出来た団地で、公区も生まれたばかりのようなんですね。そこで、公区に住む人たちの連帯感、親睦を高めようと、「みんなから原稿を集めなんでもいいから出そうや」というのが始まりでした。年に三回くらい出せばいい方だと、のんびりムードで第一号をまず、出しました。

山崎 緑町二公区の場合、目的は二つあります。一つには、よりよい町づくりは住民自身の実践活動から出発するというのを、公区活動の基本と考えています。自分たちでやれることは自分たちで、自分たちで出来ない仕事は行政といつしょにやってい

く――そう考えています。こうし

## 座談会

# 公区活動を みんなのものに それが公区だよりの目的です

公区だよりの発行がいくつかの公区で進められています。編集を担当しているお2人に、その効果やこれからの方針をお聞きしました。



## 回覧板よりも 速報性がはるかに高い

司会 どんな組織でもそうですが、まづ知らせる、それが基本だと思うんです。発行してみての反応はどうですか。

川前 私たちの団地は留守がちの家庭が多いので、夜家に帰つてから読んでもらえれば、町内会の出来事が細かなところまでわかるような町内会だよりを作りたいと思っています。

百四十戸を越えていますし、持ち家の人、公営住宅に入っている人などさまざまですから、公区の行事に参加する姿勢も違うようです。そこで公区の活動にみんなが参加できるように、「知らせる」ことから町内会

だよりをスタートさせたわけです。

回覧板は

みんなに周知するのに時間がかかる

川前

司会 一度苦労すると、知らん顔もできないということですか(笑)。

川前 私たちの公区はできて日が浅い

た活動は残念ながら一般に、役員など一部の人たちだけのものに陥りやすいんです。そこで、住民活動を公区全体のものにするには、公区の出来事を細大もらさず知らせて、みんなに関心をもつてもらおうと、公区だよりを出し始めました。

もう一つ、今までみんなでやつてきた活動がきちんと残せますから、将来の大切な資料にもなります。

りますが、一枚ずつ各戸に行き渡る町内会だよりだと、速報性がありますね。

「公区の動きがかわって、とてもいいよ」って言つてくれた人が何人いました。公区の図面も作つてみました。世帯主の名前だけでなく電話番号や家族の名前、この家には小学生がいる、中学生がいるという印もつけて――子供会の関係もあるもんですから。

山崎 読んでもらっているかどうかは常に心配ですね。落とし物が届くとそれを記事にして載せるようになりますが、公区だよりを配るとすぐ落とした人から連絡がある――そんな時は、意外に読まれてるんだと感じます(笑)。

司会 ところで、公区の運営のしかたはどんな方法をとられていますか。

山崎 昭和四十四年に公区の規約を作つたんですが、その時に活動委員会を設けました。年度途中で行事を企画した時にそのつど総会に諮らなくてはいけませんが、その時に活動委員会を認すればいいようになっています。

班長(十班ある)の任期も元は役員と同じ一年だったんですが、今は三ヶ月交替にしています。一年間に

全部で四十人が班長を経験します。班長をやつた経験があると、やめた後でも公区活動に関心と積極的な協力をしてくれますね。

司会 一度苦労すると、知らん顔もできないということですか(笑)。

川前 私たちの公区はできて日が浅い

ですから、模索の状態ですね。とにかく顔と名前が早く一致するようにと、親睦を第一に行事を考へています。

班の活動には、集めた公区費の中から助成金を出して自主的な親睦行事を公区として応援しています。

顔を知る、人を知る——これを合言葉に公区づくりを進めていた最中です。昨年七月に団地内の公園で家族レクリエーションをやつたんですが、その時の懇親会の席上で一班と二班が班対抗のソフトボールをやろうと活動が発展しました。お互いに顔も名前もわかつてくると、公区のムードはなごやかになりますね。

子供たちも

## 公区の一員として活躍

司会 再び公区だよりの話にもどらせ

ていただきますが、お二人の経験から、これから発行を始めようとすると公区へのアドバイスがありましたらお聞かせください。

山崎 昨年から公区だよりの用紙の大

きさを変えてみました。それまではB4判（西洋紙大）だったのを半分のB5判にしたんです。これで手軽に発行できます。

以前は三ヶ月に二回位の発行で行事の結果

ですが、その時の懇親会の席上で一班と二班が班対抗のソフトボールをやろうと活動が発展しました。お互いに顔も名前もわかつてくると、公区のムードはなごやかになりますね。

司会 子供たちも公区の一員として活躍してますから。子供たちに手伝ってもらいうと、前日に印刷したもののが、翌日には確実に全部の家庭に届いています。

司会 子供たちも公区の一員として活躍してますね。

山崎 そうですね。書く方はたいへんですが（笑）、みんなが読んでくれるものを作るのは楽しいですよ。

上手下手は別にして（笑）、今のところ早く出すことをモットーにしています。夜のうちに原稿を書いておいて、会社で昼休みにガリ版に向かうんです。

川前 僕らは先に原稿を作つておかないと、ガリ版に向かいながら文章を考えるから時間がかかる……（笑）。

第二号まではタイプ印刷でしたが後はガリ版刷りです。タイプよりも手書きの方が親しみがあるという声も聞きますし。

## 情報を選んで 身近なものは再PR

司会 最後に、これからはこうした点

にも力を入れて公区だよりを作つてみたい、という目標をお話しくださいませんか。

山崎 役場から「おしらせ」が配られ

報告が主でしたが、現在は月に六七回出します。内容も、これからやる行事の案内を大事にして編集しています。

昨年の六月から十月まで、健康づくりと子供の非行防止を目的に早朝ラジオ体操をやりました。その時に集まつた子供たちが、公区だよりを手分けして配ってくれました。これは早いですよ。班長さんが留守の場合など全戸に行き渡るのに三日はかかりますから。子供たちに手伝つてもらいうと、前日に印刷したもののが、翌日には確実に全部の家庭に届いています。

士の交流にまで発展させたいという動きはあるんですが、なかなかかふんぎりがつかないようです。あまり難しく考えずに第一号を出してみることです。それから少しづつ良いものにしていく努力をすればいいんですから。

冬山の遭難防止 気象・装備にくれぐれも注意を



公区だよりの果たしている役割は大きい



冬山の遭難防止  
気象・装備にくれぐれも注意を

川前 いろいろな所からすごくたくさん情報が家庭に届けられる時代ですから、その中から自分にとつて必要な事柄を選んで読むというのは、たいへんなことです。山崎さんが言われたように、自分たちの公区に関係のあることをもう一度、町内会だよりに載せる方法は、いいですね。

司会 公区だよりの発行に技術的な面も含めて、役場の広報担当としてもできる限りの応援をしていきたいと思います。本日はお忙しい中をお集まりいただき、貴重なご意見をお聞かせくださいまして、たいへんありがとうございました。

幕別消防署では昨年一年間の火災発生状況と救急業

務の統計をまとめました。これによりますと火災発生件数は前年より一件少ないものの損害額は大幅に増加また救急車は二日に一件の割合で出動していることがわかりました。

# 救急出動、2日に1件

## ●幕別消防署

(昨年1年間の統計から)

### ●火災発生状況

昭和五十三年一月から十二月までの一年間に発生した火災は、前

年より一件少ない八件（罹災世帯六、罹災者十八人）。内訳は住宅五、工場、事務所、風呂場の各一で、住宅火災で二人が焼死していきます。

出火の原因は、マッチの不始末（住宅）、ガスコンロの消し忘れ（住宅）、残り火の不始末（風呂場）、ストーブの取り扱いミス（事務室）、眼鏡石の不安全（住宅）、タバコの不始末（住宅）で住宅および工場の各一は不明となる。

設をめざし、また、総合計画後期五か年計画の第四年次にあたりますので

○生活基盤の整備（住みよい町

の四つを町政の柱として、作業

○教育文化の進展（明日への町づくり）

○生活基盤の整備（住みよい町

の四つを町政の柱として、作業

をすすめています。

○教育文化の進展（明日への町

づくり）

○生活基盤の整備（住みよい町

の四つを町政の柱として、作業

をすすめています。

○生活基盤の整備（住みよい町

の四つを町政の柱として、作業

をすすめています。

出来ませんので、経費は出来るだけ節約し、総体的には、今までの実績にこだわらず、重点主義の予算編成をする方針です。

○生活福祉の充実（あたたかい町づくり）

○産業の振興（豊かな町づくり）

## 新年度予算編成中

昭和四十八年秋のオイル・ショックから派生した不況は、その後も回復にいたらず、昭和五十四年も激しい好転は考えられないことを念頭におき

ただいま、昭和五十四年度の予算編成に入っております。

昭和五十四年度の予算編成は、町の総合計画の目標である“生活と生産の調和”する地域社会の建

っています。

このように、前年より件数で一件少なく、延焼面積も半分以下

の七百二十三平方メートル（前年は千六百五十三平方メートル）となっています

が、損害額は四千二百四十万一千円（前年は二千八百一万七千円）と大幅に増加

が、損害額は四千二百四十

三件、八月二件、四月、六月、十一月各一件。

### ●救急業務

昨年一年間に救急車の出動要請があったのは百八十五件、うち二十二件は傷病

の程度が軽く

救急業務の対象とはならず

実際に医療機関へ急

いたのは百六十二件でした（前年比・二十七件増）。

この百六十件の救急出

動で百八十六人（男百十四人、女七十二人）が救急病

院へ。町民百

七人に一人の割合で救急車に乗つたことになります。

救急車で搬送した百六十二件を

事故別みると、最も多かったのは急病の六十六件（男三十五人、女三十一人）、以下交通事故の三十七件（男二十九人、女二十三人）

一般負傷二十四件（男十七人、女七人）、労働災害二十一件（男二十人、女一人）が主なものです

が、この事故で負傷した方は、や

はり十一月が最も多く十三人、

以下八月十二人、七月・十月十人、四月七人、九月六人の順。

ところが、四月は発生二件で

七人が、八月は五件の事故で十

人、九月は三件の事故で六人が

負傷しており、これは、特に觀

光シーザンに多くなっています。

三十八件発生し

町内の交通事故  
昭和53年





# 町内から二人 特別賞を受賞

全道読書感想文コンクールで、幕別小学校六年生の井上敬子さんが特別賞に入賞した話題は先月号でお知らせしました。今度は第六回全道中学生作文コンクールで、幕別中学校二年生の高橋由佳さんの作品「私のふるさと幕別町」が特別賞に輝きました。このコンクールのテーマは「ふるさと北海道」。二万七千八十三点のなかから選ばれたもので、由佳さんのはか幕中二年生の深松まゆみさん、米山由紀美さんも優秀賞を受賞しています。由佳さんは町長賞も贈られています。

全道コンクールで相次いで特別賞を受けた二つの作品を掲載します（いずれも原文のまま）。

## ●青少年読書感想文全道コンクール特別賞

### 路傍の石を読んで

幕別小学校六年

井 上 敬 子



私は、今年の夏休み「路傍の石」を読んで多くの事を感じさせられた。特に感じた事は、主人公貧乏という重い運命を背負つて含めた登場人物の生き方である。の母親の死、つらい奉公など、苦

しい事、悲しい事にたえ、一生けん命生きていく姿に心を打たれた。こういった吾一少年の半生の間には、色々な人との出会い、また、その人達が、吾一をかけで支えてくれたり、力になってくれたりしている。まず、吾一にとって、忘れてならない人が、次野先生である。

この先生は、すばらしい人だ。吾一に、一番深い影響をあたえている人物だ。特に、すばらしいと思つた所は、吾一という名前についての、先生の語りである。「吾一という人間は、たつた一人しかいないのだ」という先生の言葉が今も、印象深く心に残っている。

次野先生のこの言葉によつて吾一は、人生は希望をもつて生きていくという事を、しつかり教えられた。そのため、どんなにつらく悲しい事があつても、希望をもつて生きてきたのではないだろうか。そして教師という職業は、本当にすばらしい仕事だと感じた。

次に、吾一にとつて一番大切な人である母親だが、貧乏のどん底にあってよく吾一を立派に育てたなど思つた。吾一は、この母親から「たえる」という事をおそわつたのではないかだろうか。それに、何事もはね返す吾一の気性、これは母親の影響だろうと思う。それだけに、母親の死という深い悲しみを受けて吾一は、どんな気持ち

奉公の苦しさ、その上に母親の死という三重のショックがあつたら「生きる」という事に絶望を感じられない。そんな、耐えきれないほど、たくさんの苦しみの中から、強く生きぬいた吾一は、本当にすばらしい精神力の持ち主だと思った。

また、こういった吾一の半生の間に、かけの力となつてくれた人に「いなば屋のおじさん」がいる。吾一にとつては、本を読む事を教えてくれた、大切な人である。本を読むという事によって、吾一は色々な事を知り、それをどんどん吸収していき、吾一の人生に大きな影響をあたえ、立派な人間として成長していくのである。私も本を読む事の大切さを、今さらのように感じた。又、下宿先の黒田の言つた「かんなん、なんじを玉にす」、人は、苦労して初めて立派な人間になるという言葉が、深く私の心に刻まれている。

全文を読み終わつて、私は静かに、この本の題名「路傍の石」という意味について考えてみた。作者は、人の目にもふれない、道ばたの名もない小さな石のような人々から忘れられた人間でも、ひたすら生きているのだという事を読者にわかつてもらいたかったのではないかだろうか。こう私は感じた。この本を読んで多くの事を学びとる事ができた。

年金は  
請求しないと  
受けられません

厚生年金保険や船員保険の老齢年金、障害年金、遺族年金などの給付は、加入期間、年齢、廃疾の程度、死亡などの一定の要件を満たしている場合に支給されます。

ところが、これらの年金は、その年金を受けられる要件に該当したとしても、社会保険庁では、その事実や住所の確認が困難であるため、自動的に支給されるものではありません。年金を受けることができる人からの裁判請求に基づいて年金が決定されることになつています。

請求が遅れると添付資料を整えることが困難になつたり、時効により年金の支払いを受けることができなくなることがあります。

したがつて、年金を受けることができるようになつたときには、一日も早く裁判請求をおこなう必要があります。

とくに次のような請求年金の場合には、加入期間や年齢、疾病の程度などの要件のほかに、裁判請求をすることも要件の一つとなつております。したがつて社会保険事務所で裁判請求書



少しずつ愛好者がふえています。

練習は毎習水曜日、午後七時から

幕別小学校の体育館で行っています。

初心者の方もぜひどうぞ、

とのことですので興味のある方は

一度練習をのぞいてみてください。

佐野さん、幕別の室内サッカー

について聞いてみました——「悩

みは、力いっぱいボールを蹴れる

体育施設がないこと。総合体育館

を建てる時には、実際に使う側の

意見を取り入れてほしいと思いま

す」

今年の大会でも、また優勝しよ

うと、練習にも一段と熱が入って

います。

十二月十七日、帯広市総合体育

館で行われた全十勝室内サッカー

選手権大会で、幕別から参加した

チームが一般Bブロック

の優勝と準優勝を勝

ち取りました。

この栄冠を手にした

のは、幕別FCエスカルゴ

ルゴ（主将・佐野修さん）。

三十チームが参

加したこの大会で、エ

スカルゴはチームを二

つに分けて参加し、両

方とも順調に勝ち進み

決勝戦は幕別同士の戦

いとなりました。ふだ

んは同じチームとして

試合をしているためか、

多少やりすらかたとか



夜遅くまで練習の余念のない幕別FC・エスカルゴ



### 子供といっしょに カツティング画に挑戦

ろばたの会

（母と女教師の会・  
大竹節子会長）では、発足以来、

福祉施設の慰問など巾広い活動を

すすめていますが、一月九日に町

民会館に集合し、子供たちと一緒に

カツティング画に挑戦しました。

カツティング画とは、下絵に好みのブツシユカラーを貼る「描画

はり絵」で、参加した約五十名の

親子は、はじめての挑戦でしたが

何れも素晴らしいカツティング画

を作りあげ、大変満足そうでした。

カツティング画に取り組む皆さん



### 手作りの味を満喫 地域子供会育成連絡協議会

子供工作大会が十二月二十四日に町民会館と札内福祉センターを

会場に、多くの小学生と父母が参加して開催されました（写真）。

この工作大会は、幕別および札

内の地域子供会育成連絡協議会（  
幕別・坂下庄藏会長、札内・外館

繁司会長）が主催したものです。

工作大会の狙いは、すっかり影

をひそめた手作りの味を、親子ともども楽しんでいただこうという

もので、民間の指導者と学校の先生が講師となつて、タコ、首ぶり

人形、七宝焼などに取り組み、楽

しい一日を過しました。



記念誌編さん作業中の皆さん

町には幕別町史と先頃発刊された幕別農協三十年史がありますが、

これら町史、幕別農協史ともスペ

ースの関係から各地区の歴史まで

手がまわらないのが実情。このた

め我が地区の歴史をと、明野地区

で記念誌の編さんがすすめられています。

明野地区は幕別発祥の地である武山市街も含まれるため編さん作業は困難をきわめましたが、二月

中旬に発刊のメドもつき、予定通り二月十八日に記念碑の除幕式と祝賀会を開催することにしていま

す。

### 幕別発祥の地の歴史を編さん

明野地区

# 資源回収事例

資源回収運動は公区の活動費を生み出すとともに、親睦や連帯にも大きな役割を持っています。現在実施している公区の事例をお知らせください。広報紙上でご紹介します。

緑町第三公区（西田潔公区長）

は昭和五十二年六月に緑町第一公区から分離した新しい公区ですが、各家庭内外の整理・整頓とあわせて資源を有効に活用しようと、分離した年の八月から回収をはじめました。

初年度は八月から十一月まで四回、五十三年は五月から月一回実施していますが、回収方法は指定した日時に各自が持参し、担当係がこれを分離して業者に引渡して

います。

回収品は各種のビン類、新聞、雑誌、ダンボール、鉄クズのほか使わない家具や電気器具も回収の対象としています。

比較的新しい公区のため、目標は親睦を第一とし、年中行事として野遊会、七夕祭、盆踊りなどを開催しており、これら行事に資源回収で得たお金が重要な役割をはたしています。

なお、西田公区長は、今後の反

省として次の点をあげていました。  
①回収日時を早目に連絡し徹底させる必要がある。②回収場所は一か所のため増設を検討しなければならない。

昭和二十二年四月に当選以来、連続七期二十八年もの永きにわたって幕別の発展につくした前町長の中島国男さんの功績を顕彰し、等身大のブロンズ像が建立されることになりました。

## 「ゆずります」

●セミダブルベット（程度

・良） 希望価格は一万円ぐらい

（幕別）④3250

阿部清広（幸町十五番地）

▽要らなくなつた品物で、まだ使えるものがみなさんの家庭の隅にたくさん眠っているところに持参します。班長さんは、資源がたまりますと、その都度十一班にわかっている班長さんのところに持参します。班長さんは

札内新北町（亀水正作公区長）の資源回収は、婦人部が主体となって実施しています。

新北町婦人部（吉村ミエ部長）では毎月一回、婦人学級を開き、電気器具の直し方、料理講習会などを開催していますが、これに必要な経費は、資源回収で得たお金

同じ公区内にいる回収業者に連絡し引き取つていただく方式をとつており、この資源回収は昭和五十年の春からはじめています。

回収する品物は他の公区と同様ですが、新北町婦人部ではボランティア活動に協力するため古タオル、シーツなど繊維類も回収しているのが特徴となっています。

なお、亀水公区長は「全町的に資源がたまりますと、その都度十一班にわかっている班長さんのところに持参します。班長さんは



## 新北町婦人部

## ボランティア活動にも協力



ガスを使う室内の換気を



火を使うへやには換気設備をしましょう

二十二年に初当選以来、その「街づくり」は高く評価され、また、十勝町村会長、十勝総合開発促進期成会長、北海道町村会副会長の要職を歴任。これらの功績から昭和五十一年春に勲五等双光旭日章を、秋には幕別町名譽町民の称号が贈られています。

なお、十二月十八日に開かれたブロンズ像建立期成会設立総会で正式に建立を決定、二月中に発注され、今年の開町記念日に除幕式を開催することになっています。建

立場所は役場前庭の予定。

# 税の申告と納税が 始まります



税務署の窓口は、三月上旬が比較的すいていますので、この時期に相談されると良いでしょう。

## 贈与税と税金

贈与税は一年

間に個人からもらつた財産が六十万円を超えるときにつかります。

ただし、結婚生活が二十年以上ある夫婦の間でおこなわれる居住用不動産、または居住用不動産を取得するための金銭贈与については、六十万円の基礎控除のほかに一千万円が控除されます。

昭和五十三年分の所得税と贈与税の申告と納税がはじまります。この申告と納税の期間は、所得税は二月十六日から三月十五日まで、贈与税は二月一日から三月十五日までとなっています。

申告書を書くときには、申告書に同封されている「申告書の書き方」などの説明書を参考にしてください。もし、申告書の書き方や所得の計算の仕方などで、不明の点がありましたら、税務署の窓口で遠慮なく、ご相談ください。

計算は次の表を使うと便利です。  
なお、税務書類の作成を他に依頼する時は、「ニセ税理士」にご注意ください。

●贈与税の速算表

基礎控除後の課税価格	税率	控除額
50万円以下	%	万円
50万円以下	10	—
70	15	2.5
100	20	6.0
140	25	11.0
200	30	18.0
280	35	28.0
400	40	42.0
550	45	62.0
800	50	89.5
1,300	55	129.5
2,000	60	194.5
3,500	65	294.5
7,000	70	469.5
7,000万円超	75	819.5

## 表紙の説明

場では、寒い冬の風物詩となっています。

鯉の出荷が盛んにおこなわれています。途別で鯉が飼育されたのは古く、今ではすっかり冬の風物詩となっています。

2月1日現在で

## 農業基本調査をおこないます

北海道農業基本調査は毎年2月1日現在で実施しています

が、今年も六十六名の調査員によって調査がおこなわれます。

この農業基本調査は、北海道農業の基

本的項目である専業・兼業別農家数、農家人口、土地面積、飼養家畜、農用機械などを調査し北海道

## 篤志寄付者の お名前

町へ……

▽大石和也さん（池田町）から

地方自治振興資金として二三百万円

▽札内ツバメ石油株式会社（松島由弥代表取締役）から環境衛生施設整備資金として二十万円、交通

安全施設整備資金として十万円

教育委員会へ……

▽幕別ロータリー会から図書購入資金の一部にと五万円

▽藤間流チャリティ舞踊会では図書購入資金の一部にと一万円

▽四季の会からアートフラー販売の益金を図書購入資金の一部にと一万円

▽札内勤労者ソシアルダンスサー

クルから時計四個

十勝愛育園へ……

▽幕別ライオンズクラブから菓子

▽札内神社から菓子

▽北海道農協乳業株式会社からチーズ、オモチャ

▽大森百合子さん（神奈川）から菓子、森繁杏子さん（東京）から菓子、

▽大森百合子さん（神奈川）からレコード、本、コースター（以上何れもXマスにあたつてのプレゼント）

社会福祉協議会へ……

▽大石共也さん（旭町）から母の病気見舞いを廃して十万円

▽古田茂さん（共栄町）から三十万円

▽藤幸会から十万円

▽西田利文さん（十勝）から父が生前お世話になりましたと二万円

▽坂口一治さん（相川）から千円

▽西田利文さん（十勝）から父が生前お世話になりましたと二万円

▽西田利文さん（十勝）から祖母が生前お世話になりましたと五万円

▽坂口一治さん（相川）から父が生前お世話になりましたと三万円

▽新川長寿会へ指定寄付

▽札内老人クラブへ指定寄付

▽新川公区から一万五千円（明野

清一さん（稻志別）から五万円とあるのは二万円につき、つつしんで訂正いたします。